国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 24 年 1 月 13 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高 公久
電話番号　　03-5572-0233

オーストラリア イクシスLNGプロジェクト 最終投資決定について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、このたび、オーストラリア　イクシスLNGプロジェクト(以下、本プロジェクト)に関する最終投資決定を行いましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、当社子会社のINPEX Ichthys Pty Ltd社など豪州グループ会社を通じて、TOTAL E&P Ichthys社とともに推進するオーストラリア連邦西豪州沖合WA-37-R鉱区ほかに位置するイクシスガス・コンデンセート田の開発プロジェクトであり、本邦企業が主導する初の大型LNG（液化天然ガス）開発プロジェクトとして、当社は2016年12月末までの生産開始に向けて本格的な開発作業に着手します。

本プロジェクトは、西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設する陸上プラントにて液化し、年間840万トンのLNGおよび年間約160万トンの液化石油ガス（LPG）として生産・出荷するとともに、洋上貯油・出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なプロジェクトです。本プロジェクトの総投資額は340億米ドル（当社負担分（権益比率72.805%*）は247億米ドル、円換算でおよそ1.9兆円。）を見込みます。

* 当社イクシスLNGプロジェクト保有権益（プロジェクト全体の76%）のうち、既に大阪ガス株式会社（1.2%）、東邦ガス株式会社（0.42%）、東京ガス株式会社（1.575%）への一部譲渡について当事者間で合意しており、これら全ての譲渡に対する豪州政府当局からの承認をもって当社のイクシスLNGプロジェクト権益比率は72.805%となります。

北部準州のダーウィンに設置する陸上LNGプラント（2トレイン）の建設は、日本の大手エンジニアリング会社である日揮株式会社をリーダーとする、千代田化工建設株式会社および米国のKBR社から構成される企業連合との間でEPC契約（Engineering, Procurement and Construction、詳細設計・資材調達・建設）を締結します。また、沖合生産施設やガス輸送パイプライン等に関するEPC契約については、国内外の主要企業との間で締結します。

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

ダーウィンに建設予定の陸上LNGプラントから生産・出荷されるLNGについては、既に、東京電力株式会社、東京ガス株式会社、関西電力株式会社、大阪ガス株式会社および九州電力株式会社の5社からなるコンソーシアム、中部電力株式会社、東邦ガス株式会社、CPC Corporation, Taiwan、自社引取分として当社およびTOTAL社との間でそれぞれ2017年から15年間の長期LNG売買契約を締結しており、本プロジェクトから生産されるLNGの7割相当が日本に仕向けられることが決定しています。

本プロジェクトのLNG生産規模が日本のLNG総輸入量の1割強を占める大規模なものであることから、本プロジェクトの実現により、日本へのエネルギーの長期的な安定供給や、エネルギー調達におけるリスク分散に一層の貢献ができるものと考えています。

当社は、本プロジェクトを実施するにあたり、周辺環境保全への配慮や地域社会の発展のための貢献をプロジェクト実施上の重要事項と認識しており、二酸化炭素排出削減のためのプログラム策定やダーウィンにおける職業訓練校の開設など具体的な地域貢献活動を実施しています。こうした活動を始めとして、本プロジェクトは、エネルギー資源大国の一つであるオーストラリアの社会・経済全体の発展に寄与するとともに、二国間の友好関係の更なる増進に資するものと期待されます。

本プロジェクトは、マハカム沖鉱区プロジェクト（インドネシア）、バユ・ウンダンプロジェクト（チモール海共同石油開発地域）、タングーLNGプロジェクト（インドネシア）に次いで当社が手掛ける4件目のLNG開発・生産プロジェクトですが、このプロジェクトにおいては初めて操業主体（オペレーター）を務めます。本プロジェクトは、当社の中長期的な成長戦略における中核的プロジェクトの一つと位置づけられ、今回のイクシスLNGプロジェクトの最終投資決定は、当社の事業戦略を追求するうえで大変重要なマイルストーンであると認識しています。
また、本プロジェクトの実現により、今後国内外で需要が高まるクリーン・エネルギーとしての天然ガス（LNGを含む）事業における当社の積極的な事業展開と当社事業戦略であるガスサプライチェーンの構築がより確かなものとなります。同時に、当社のプロジェクト資産のポートフォリオも一段と充実します。

当社は、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府をはじめとするオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを遂行してまいります。

以 上

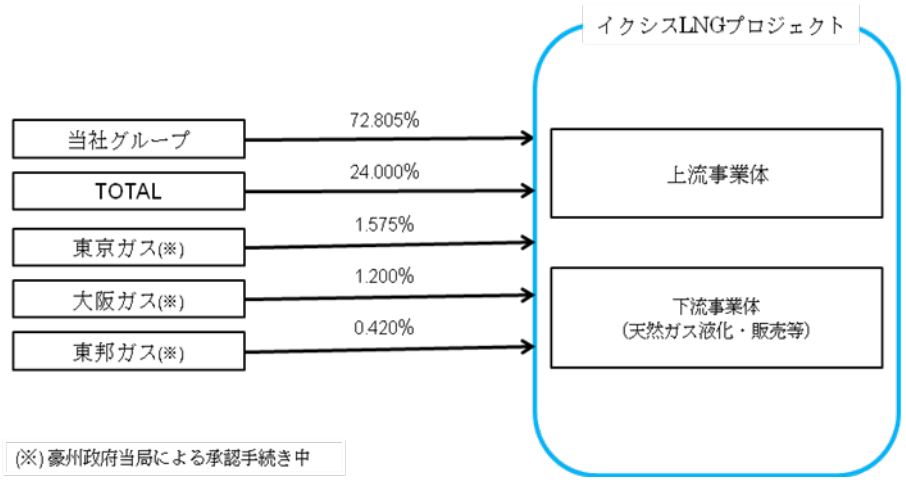
国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

＜補足・関連情報＞

（1） 生産開始（予定）：
2016 年 12 月末

（2） 埋蔵量&生産量（予定）：
埋蔵量は、年間 800 万トン超の LNG を約 20 年の長期にわたり生産できる規模。
生産量は、LNG 年間 840 万トン、LPG 年間約 160 万トンおよびコンデンセート日量約 10 万バレル（ピーク時）。

（3） 本プロジェクト参加割合（権益比率）：



（4） 総投資額：
340 億米ドル
うち当社負担分（72.805%）は 247 億米ドル（円換算でおよそ 1.9 兆円）

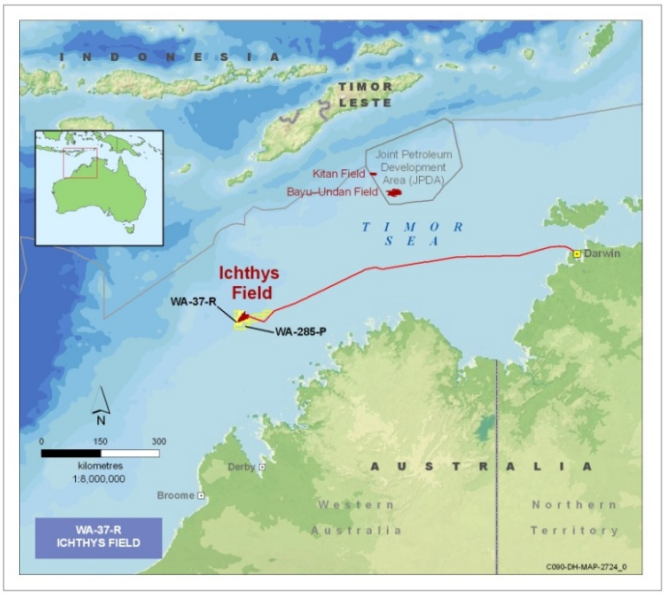
（5） 資金調達方法：
自己資金および借入金（プロジェクトファイナンスの組成に向けて準備中）

（6） LNG マーケティング：

買主	LNG 年間販売量
東京電力	105 万トン
東京ガス	105 万トン
関西電力	80 万トン
大阪ガス	80 万トン
九州電力	30 万トン
中部電力	49 万トン
東邦ガス	28 万トン
CPC 社（台）	175 万トン
TOTAL 社（仏）	90 万トン
当社	90 万トン

販売契約期間：2017 年から 15 年間

（7） 政府許認可関係：
主要許認可のうち、環境承認およびガスエクスポートパイプラインライセンスについて取得済、本最終当決定をもって遅滞なく生産ライセンスを取得予定



イクシス LNG プロジェクトロケーション


オーストラリア ダーウィンにおける液化天然ガス（LNG）プラント建設イメージ図